

## 第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙①

### 応募者に関する情報

記入日： 24年12月10日

応募者情報	
応募 団体名	(フリガナ) チカクノヤマノキデツクル、ショウ CO2 デココチヨイキノイエプロジェクト
	(団体名) 近くの山の木でつくる、省 CO2 で心地よい木の家プロジェクト 株式会社デコス
応募 担当者 連絡先	団体名： 株式会社デコス
	所在地： 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 3-3-8 日本橋優和ビル 8F
	部署名： 断熱事業部 東京営業所
	役職名： 次長
	氏名： 田所 憲一
	TEL： 03-3516-8056 FAX： 03-3272-2753
	E-Mail： <a href="mailto:k-tadokoro@decos.co.jp">k-tadokoro@decos.co.jp</a>
ホームページ	<a href="http://www.decos.co.jp">http://www.decos.co.jp</a>
<p>応募団体の主たる事業（※行政の場合は、記入は不要。最大2000字入力できます。詳細は別紙添付可）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●株式会社デコス <a href="http://www.decos.co.jp/company/index.php">http://www.decos.co.jp/company/index.php</a>（安成工務店グループ） <ul style="list-style-type: none"> <li>・断熱材製造販売事業・・・新聞紙をリサイクルしてつくる建築用断熱材「セルロースファイバー」を製造販売 生産工場は、山口県下関市と埼玉県飯能市（建設中）</li> <li>・FC事業・・・デコスドライ工法施工代理店制度を運営</li> </ul> </li> <li>●株式会社安成工務店 <a href="http://www.yasunari-komuten.com/company/business/">http://www.yasunari-komuten.com/company/business/</a> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅事業・・・パッシブシステム（自然エネルギー活用）の木造環境共生住宅を手掛ける</li> <li>・建築事業・・・土地活用を中心とした創注型の事業用建物、公共物件を手掛ける</li> <li>・商業開発事業・・・土地の有効活用を考えた企画開発～建設～運営管理をトータルで行う</li> </ul> </li> <li>●株式会社トライ・ウッド <a href="http://www.try-wood.com/modules/company0/">http://www.try-wood.com/modules/company0/</a> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育林事業・・・植林、下刈り、枝打ち、除伐</li> <li>・木材加工事業・・・一般製材品、加工羽目板、集成パネル、集成材</li> <li>・J-VER クレジット事業・・・日田市上津江町間伐推進プロジェクトによるクレジット認証・販売 「輪掛け乾燥」（商標登録済・特許出願中）を九州大学と共同開発。高温乾燥による環境負荷を取り除き、木本来の持つ「調湿効果」「香り」「耐久性」などの特性を活かす、省 CO2 で心地よい製品づくりを行う</li> </ul> </li> <li>●株式会社エコビルド・・・<a href="http://www.eco-build.co.jp/precut/">http://www.eco-build.co.jp/precut/</a>（安成工務店グループ） <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレカット事業・・・トライ・ウッドより仕入れた構造材を半自動により職人の手刻みでプレカット加工を行う</li> </ul> </li> </ul>	

## 第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙②

### 応募するカーボン・オフセットの取組についての基礎情報 (1次審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙②全体で A4 用紙 3 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : [http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry\\_data\\_list.html](http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_data_list.html)

#### 1. 応募するカーボン・オフセット活動の名称・タイトル

カーボン・オフセット認証を取得済みの活動については、認証番号もあわせて記載下さい。

近くの山の木でつくる、省CO2で心地よい木の家プロジェクト

●製品カーボンフットプリント値へのオフセット

(株)デコスの建築用断熱材「デコスファイバー」に対するカーボン・オフセット実施。

(経済産業省及び関係省庁が推進する「カーボンフットプリントを活用したカーボン・オフセット製品」試行事業採択製品)

#### 2. カーボン・オフセット活動の概要

##### <カーボン・オフセットの分類>

以下の4分類からひとつ選び、□に✓をつけてください。

- 商品使用・サービスオフセット  
 会議・イベントオフセット  
 自己活動オフセット  
 自己活動オフセット支援

【参考】

環境省による「カーボン・オフセット第三者認証基準(Ver.1.1)」に基づく分類

[http://www.jcs.go.jp/pdf/document/ki\\_jun.pdf](http://www.jcs.go.jp/pdf/document/ki_jun.pdf)

##### <カーボン・オフセット対象・バウンダリ>

カーボン・オフセットの取組内容に関して、オフセットの対象範囲をお書きください。

【例】3①-1に記載した算定範囲と同じ or 算定範囲のうち、○○、○○の部分に関してカーボン・オフセットの対象とした

●(株)デコス

試行事業期間中に上棟する予定の安成工務店の木造住宅に使用相当量のデコスファイバーに係るライフサイクルCO2排出量(本数値は「カーボンフットプリント制度事項事業」を通じて使用許諾を得たCFP値と上棟住宅に使用するデコスファイバー使用相当量から算定を実施)

##### <カーボン・オフセットの取組の実施期間>

カーボン・オフセットの実施期間についてお書きください。その際、2010年1月1日以降にカーボン・オフセットを実施継続している事例または2010年1月1日以降にカーボン・オフセットを開始した事例であることが応募にあたっての必要要件となりますので、御注意ください。

【例】2009年4月1日から2009年10月31日までが取組の実施期間の場合⇒応募資格外

2009年4月1日から2012年3月31日までが取組の実施期間の場合⇒応募資格有

2012年3月15日以降、現在も継続中(終了時期未定)の場合 ⇒応募資格有

●(株)デコス

2012年8月10日(注)～2013年3月31日(試行事業期間中/終了後の継続も検討中)

(注:オフセットに使用する予定のクレジットに関して株式会社トライ・ウッド社が追加認証の申請中/認証され次第実施を予定)

## <カーボン・オフセットの取組に関する情報提供方法>

自社 HP 等、カーボン・オフセットの取組をウェブに掲載されている場合は、URL を記載願います。

- 現在制作中。

## 3. 1次審査項目

### ① 自らの行動に伴う温室効果ガスの排出量の認識

カーボン・オフセットの取組内容に際して、排出量の算定についてお書きください。

#### (自己活動オフセット支援以外の場合)

#### ① 1 排出量の算定方法及び算定範囲

- (株) デコス  
建築用断熱材「デコスファイバー」について CFP 算出。検証済の CFP 値は 1 袋 (15 kg) あたり 11.9 kg-CO<sub>2</sub>e  
施工時の製品使用量と上記 CFP 値からオフセットを実施する排出量は約 23t-CO<sub>2</sub> 見込

#### ① 2 排出量の算定に利用したデータ種類

- (株) デコス  
デコスファイバーCFP 値 (CV-CK01-001)、建築用断熱材 PCR 施工シナリオ (PA-CK-01)、安成工務店試行事業期間内上棟物件数

#### (自己活動オフセット支援の場合)

#### ①-3 利用者に帰属する排出対象活動

【例】利用者の 1 日の日常生活に伴う排出量 ○○kg

【例】購入製品使用時に伴う利用者に帰属する排出量のうち購入後 1 年分にあたる、○トン。商品販売時に顧客に提示。

#### ① 4 利用者に対する排出量の提示方法

### ② 排出削減努力の実施

取り組まれた排出削減努力について該当とする取組に✓をつけてください(複数可)。なお、取組のアピールも含めた詳細については、応募用紙③「1. CO<sub>2</sub> 排出削減努力と関係者の理解や協力」に詳しく記載して下さい。

- 節電    節水    廃棄物の減量化    省電力機器の導入    公共交通機関の利用・呼びかけ  
 その他 (応募用紙③をご参照ください。)

### ③ オフセットの手続き

#### <カーボン・オフセットに利用したクレジット等の種類>

使用したクレジット等の種類をお書きください。なお、異なるクレジットを併用した場合の各割合 (%) についても記載してください。【例】J-VER (○%)、CER 等 (△%) など

- (株) デコス・・・J-VER (100%) 予定

#### <カーボン・オフセットに利用したクレジット等のプロジェクト名称>

使用したクレジット等の具体的な温室効果ガス削減・吸収プロジェクト名をお書きください。

- (株) デコス・・・日田市上津江村間伐促進プロジェクト (トライ・ウッド社のクレジットが在庫切れの為、追加認証申請中分を利用予定)

#### <カーボン・オフセットに利用したクレジットの無効化に関する状況>

取消、償却実施年月、もしくはその予定についてお書きください。

- (株) デコス・・・クレジット購入および無効化実施予定 2013 年 1 月下旬頃 (J-VER 創出者の認証及び口座移転後)

## 第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙③

### 応募するカーボン・オフセットの取組についてアピールポイント (本審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙③全体で A4 用紙 4 ページ以内にまとめてください。

※第 1 回カーボン・オフセット大賞の 1 次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : [http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry\\_datalist.html](http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_datalist.html)

#### 1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力

① CO2 排出削減努力の項目（内容）について、期待した効果とその成果について具体的かつより定量的にアピールしてください。

● (株) デコス

CFP 値の情報を基にライフサイクル各段階における CO2 排出量削減への取り組みを推進。

埼玉県飯能市の第 2 工場（関東工場）建設により「原材料調達」「生産」「流通」各段階において輸送等の効率や歩留まりを改善。

「原材料調達段階」

原材料ストックヤード増大（面積比 2 倍）により大量ストックが可能となった。

そのため、輸送回数を 1/2 に削減し、積載率の高い効率的な輸送を実現。

「生産段階」

一部設備に最新の機械を導入。

3 人体制から 2 人体制での運転が可能となった。

梱包機改善により製品梱包時の製品ロスをほぼ 0 へ改善。

「流通段階」

製品ストックヤードを新設したことで外部倉庫を廃止。配送工程を簡略化。

東日本と西日本に配送地域を分けることができるようになったため、輸送距離が短くなり（最長輸送距離例：下関→宮城野 1,463 km→新座→宮城野 336 km）輸送時の燃料使用に伴う CO2 排出量を削減。

「使用段階」

施工機の性能を上げるべく開発中。

125%以上能力 UP 予定で作業時間短縮（例：14 時間⇒10.5 時間/棟）に伴う電気使用量削減を目指す。

また、非破壊密度計も開発中。

過度な吹込み施工を避けることで作業の歩留まりを向上。（約 10%向上の見込）

山口県下関工場では、CFP 算定結果をもとにさらなる数値低減活動を実施。

「風袋包装紙削減」

原材料調達に係る廃棄量削減のため、取引先へ依頼し 50 枚入→100 枚入に梱包数を変更。

梱包材の廃棄量を従来比 1/2 とした。

「外灯点灯の廃止」

2 個→1 個へ。

近接しているため、照度低下は問題なしと判断し廃止。

外灯に係る電氣量を 1/2 とした。

「新聞古紙輸送時のパレット廃止」

以前はパレット積にて古紙輸送を行い、回収・再利用していたが、輸送時の重量削減による燃費向上と破損による交換を無くすため、パレットを廃止し棧木で代用することとした。

パレット 92.5 kg→棧木 31.25 kg で約 70%重量削減。

第 2 工場ではさらなる改善を図り、古紙ペーラーを直接左右からはさむようにフォークリフトのクランプ方法を変更したため、棧木自体も不要とした。

② CO2 排出削減努力の必要性・重要性について関係者の理解と協力を得るにあたっての工夫とその成果をアピールしてください。

● (株) デコス

CO2 削減の努力はムダを無くし効率化を考えるため、コストダウンにつながる。

そこから生まれた利益をサービスの充実に循環することで、顧客満足度の向上につながる。

## 2. カーボン・オフセットの内容

- ① 自らが行うカーボン・オフセットの取組の意義・重要性について、社会にもたらす波及効果などの観点も踏まえてアピールしてください。
- (株) デコス  
建築用断熱材で日本初の CFP 認証を取得し、さらに同じく同業界で日本初の「CFP を活用したカーボン・オフセット製品」試行事業に採択された。  
このことにより、国の施策に合致した CFP～カーボン・オフセット連携の展開事例として、より一層の低炭素化が求められる建築業界に向け、具体的な数字を持った省 CO2～実質排出ゼロ・カーボン断熱材として取組みを語るができるようになった。断熱業界唯一の存在価値を活かし、今後様々な媒体にて CFP 認証取得時同様、PR を積極的に行う予定。  
また、省 CO2 建築用断熱材を提案する企業として、顧客に対して環境配慮の重要性を具体的な行動に乗せたメッセージとして伝えることが重要であると考えた。
- ③ 自らが行うカーボン・オフセットの取組の継続性、展開への意欲や見通しについてアピールしてください。
- (株) デコス  
来年 3 月に第 2 工場で CFP 認証申請し、下関工場との差異を比較、双方の拠点での改善を図る。  
CFP を減らすこと＝省 CO2 の取組みであり、またクレジット購入量を減らすことにつながる。  
この購入削減分が他の箇所でもカーボン・オフセットとして利用されることで社会全体の CO2 排出量削減に繋がるものとする。弊社としても、CFP 値に対する CO2 削減を進めることで現在よりもローコストでさまざまなカーボン・オフセットクレジットを活用することが可能になる。  
そのため、全国各地のクレジットと地産地消に配慮したコラボレーション展開がしやすい条件となる。  
なお、次のコラボレーション先候補として高知と長崎の関係者に打診中。

## 3. 環境、地域・社会、産業振興等の貢献性

次の①～④のいずれか（複数可）の観点での貢献性についてアピールしてください。

- ① 自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する河川・湖沼をはじめとする内水面や土壌・大気あるいは生物多様性といった自然環境への配慮や保全などの環境の面での貢献
  - ② 自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する地域・社会への経済的便益や効果、第 1 次産業と他産業との連携促進、地域活性化や一村一品活動の拡大などの地域・社会の面での貢献
  - ③ 自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する中小企業振興や産業基盤にとって重要な安定的なエネルギー供給・確保、環境と調和した市場の牽引などの産業振興の面での貢献
  - ④ 自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する国際貢献等、さまざまな面での貢献
- (株) デコス
- ① 「森は命の源」であり、CO2 と水、そこから始まる生物多様性の維持や食物連鎖に大きな影響を及ぼす。  
森林保全をクレジットの購入を通じて支援することは、対象となる山を守ることにスポンサーとして貢献することだと考える。
  - ② 通常の寄付とは違い、用途が森林保全という形で具体的かつ明確である。  
そのため、環境啓蒙活動の一環として行っている「エコビルドツアー」などの開催にあたり、グループ企業・取引先とともに「川上から川下まで」「顔の見える関係での省 CO2 木の家づくり」活動の展開として一般のお客様にとっても説明しやすい。  
そこからの興味もあり、森林体験バスツアーなどの参加率は高く、木の家の受注につながり、最終的には山にお金を戻すことに貢献できる。
  - ③ 断熱材は省 CO2 を考えた場合、「イニシャル」と「ランニング」の両面で評価される。  
自社の製品は原材料調達から廃棄・リサイクル段階までのライフサイクル CO2 全体を考えると、水や熱を利用しないことから他の断熱材に比べ、CFP 算定値は非常に少ないと考える。  
使用・維持管理段階＝家に使用されている状況では、CO2 を発生することはなく、暖冷房費を抑制することから「ランニング」の側面でも省 CO2 に貢献することができる。  
これらを所属する日本セルローズファイバー工業会（メーカー 4 社）と情報共有することで、一社だけの取組みではなく団体として断熱材市場の省 CO2 牽引に貢献する。
  - ④ 経済産業省「CFP を活用したカーボン・オフセット製品」試行事業に日本で初めて建築用断熱材として採択された。  
これは、省 CO2 促進の制度を横断連携した初めて取組みであるためニュース性があり、媒体に取り上げられる可能性は高い。  
また、PR を実施することによって CFP 取得企業の展開事例を示すことになるため、CFP やカーボン・オフセットの両制度の普及に貢献できるものとする。

## 4. 普及啓発の創意工夫とその成果

① 自らが行うカーボン・オフセットの取組について第三者である市民に伝え、理解者の裾野を広げ巻き込み、「自分ごと化する」ために行った創意工夫（イベントの開催やツールの開発等）についてアピールしてください。

●（株）デコス

プレスリリース発信、パブリシティ掲載、会報での報告、会議での報告、HPコンテンツ作成、チラシ作成、イベントでのプレゼンテーション発表、勉強会での報告、メルマガ発信、広告変更、工場見学時の説明、環境教育などを順次実行する。

CFP 認証取得時と同様の告知を行う。

今回、環境啓発活動のエコビルドツアー（添付資料①）で協働の「顔の見える関係」であるトライ・ウッドのクレジットを活用することで、地域循環での新たな「自分ごと化する」取組みとなった。

②人々や社会に与えた影響（行動様式や考え方の変化）について、実際に得られた反響も踏まえてその成果をアピールしてください。

●（株）デコス

CFP の認証取得から PR 活動により、知識・人脈とともに今までとは異なる対象の人に話を聞いてもらえる場が確実に増えた。

実体験と展開事例を隠さず公開していくことが、知名度と評価を上げることにつながっていると感じている。

今回さらに、その CFP を活用した次の展開ということで、CFP の話がある程度関係者には浸透している現状、より理解を得やすい活動になる。

デコスには、他に無い「CFP+カーボン・オフセット」という国の制度に沿った省 CO2 付加価値が成果となっている。

## 5. ストーリー性

① 自らが行うカーボン・オフセットの取組についての「魅力」「面白さ」「ユニークさ」などをアピールしてください。

●（株）デコス

CFP とクレジットを連動したオフセットにより、製品に係るライフサイクル CO2 から金額換算を可能にした、省 CO2 の「見える化」した取組みとなっている。

現時点で CFP 認証取得の建築用断熱材は他にはない。そのため、経済産業省「CFP を活用したカーボン・オフセット製品」試行事業においても、建築用断熱材で取組みを行うことができるのは弊社が唯一の事例となっている。

さらに弊社は、全国組織での FC 事業を展開しており、このプロジェクトを条件が揃う他の地域でも今回のような展開が可能となっている。

セルロースファイバーはもともと木から出来ており、森林吸収系クレジットとはストーリー性の観点からも非常に相性がよいため全国の森林保全へ他の断熱材では出来ない、ストーリー性のある支援活動をさらに展開していく。

②こうした「魅力」「面白さ」「ユニークさ」について、それを第三者である市民に伝えるために行った創意工夫についてアピールしてください。また、低炭素社会の実現にどのように貢献しているのか、アピールしてください。

●（株）デコス

媒体への露出を増すとともに社内・社外関係者への報告と教育、関連ネットワークへの報告、取引先広告営業マンへの情報提供など、作成するツールをもとに正しく話の出来る語り部を1人でも多く育てる。

このことによりロコミによる波及効果を促進し、より多くの市民に伝える方策を実行する。

また、今回の取組みを継続しアピールすることで社内・関係者・お客様の省 CO2 に関する意識が変わり、家づくりや公共建築物などへの木材利用が促進することで低炭素社会の実現に貢献していくことができると考えている。

以上に記載された取組について別途説明資料がございましたら、PDF の場合はメールでお送りいただくか、現物資料を郵送ください。

また、公開可能な商品・サービスの様子がわかる写真を（JPEG 等）お送りください。

## 第 2 回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙一式 送付先およびお問い合わせ先

カーボン・オフセット推進ネットワーク事務局

（担当：入山、井上）

〒東京都港区芝公園 3-1-8 芝公園アネックス 7 階

電話 03-5776-1223 ファックス 03-5472-0145

E-Mail [award@carbonoffset-network.jp](mailto:award@carbonoffset-network.jp)